



ご意見、
ご相談は
お気軽に

増永
わき

別府 2-22-22
Tel.090-9254-7643



ひろ
豊

千里丘東 5-11-6-302
Tel.090-3976-5963



安藤
かおる

鳥飼野々 3-24-3
Tel.090-1919-3951



野口
ひろし

昭和園 8-11-108
Tel.090-7095-4929



この市議会報告は政務活動費を活用しています。

2024年 第1回定例会
はじまります

物価高から暮らしを守る市政を

新年度予算などを決める第1回定例会市議会が2月20日から3月27日まで行われます。物価高で苦しい市民生活によりそい市民負担の軽減を求める論戦を行います。

値上げ
オンパレード
に不安の声

国民健康保険、介護保険、学童保育の 負担増の中止を



国民健康保険料 国保料

府内統一化の押しつけで連続値上げ

高すぎ

たとえば…

30歳代夫婦と子ども2人の
4人家族給与年収400万円

年間保険料
52万6千円超

2018年度比で
12万5千円増
(31.1%増)

401,197円

497,629円

526,166円

さらに値上げ!

2018年度 …… 2023年度 2024年度
国保料
(府内統一保険料)

70歳ひとり暮らし年金月額12万円

年間保険料2万7千円超

2018年度比で6.5千円増(30.8%増)

維新府政は2018年度から国保の「府内統一化」方針を府内市町村に押しつけてきました。国保料は毎年のように値上げ。2024年度から大阪府が決めた保険料に統一されることで、国保加入者全てがさらなる負担増となります。

国保料の決定主体は市町村

値上げをやめ、独自の減免制度で
市民負担の軽減を

2018年度から都道府県も国民健康保険の財政運営主体となりましたが、国保料の決定主体は市町村にあります。大阪府の言いなりならず、国庫負担の引き上げを強く求めつつ、市独自で値上げストップ、負担軽減策の決断をするべきです。

介護保険料

基準額3.3% 年2,520円値上げ

3年ごとに見直される介護保険料。この4月から前回の見直しにつづき値上げが提案されています。摂津市の介護保険料は北摂7市中2番目の高さです。減り続ける年金から天引きされる介護保険料。年金生活者に大打撃となる値上げは止めるべきです。

たとえば… 年金収入が80万円超で本人非課税
(世帯は課税)

65歳以上の年間保険料

年75,360円から年77,880円へ



学童保育料

33.3%の値上げ 月額4,500円⇒6,000円

昨年9月議会において、保育料値上げ等を実施するための学童保育条例が賛成多数で可決(日本共産党は反対)。4月からの値上げが予定されています。物価高騰がつづくなか、子育て世代の生活を圧迫する学童保育料の値上げは中止・延期すべきです。

新年度予算要望書を提出

市長、教育長に対して、5つの重点項目(①物価高騰対策 ②子どもの貧困対策 ③PFOA汚染対策 ④鳥飼まちづくりグランドデザイン ⑤防災対策)ほか156項目の予算要望を提出。第1回定例会の論戦等を通じて実現に力を尽くします。



第1回定例会に提案された主な議案

- 一般会計ほか7会計予算案
- 鳥飼東小学校の廃止条例案
- 国保料値上げ条例案
- 介護保険料値上げ条例案
- 子どもを虐待から守る条例案

2024年度に実施予定の主な事業

- 鳥飼地域4つの小学校の学童保育で4年生受け入れ
- 令和8年度中の全員喫食に向けた中学校給食センターの設計
- 市立学校・認定子ども園、民間保育園などの給食において食材費高騰による給食費値上げにならないよう予算措置
- 民間保育園の新規採用保育士への支援金支給

主な一般質問

2023年第4回定例会で日本共産党議員団がおこなった一般質問や意見書採択等の主な内容をお知らせします。

大阪で市民団体による大規模血液検査実施

摂津市民の血中濃度、全国の5倍！

昨年9～12月、大阪でPFAS血中濃度を測定する1000人規模の血液検査が市民団体によって行われました。摂津市内の検査会場では約200人が参加。

そのうち、9～10月に採血した摂津市民80人の速報値が発表されました。(下表)

摂津市民のPFOA血中濃度平均は10.8ng/ml。同検査による府内他地域の平均3.9ng/mlの約3倍という高濃度でした。

環境省が2017年に実施した全国調査の平均2.2ng/mlと比べると実に約5倍です。また、全米アカデミーが示す医療的ケアを必要とする基準を80人中31人が超えていることもわかりました。

PFAS血中濃度調査結果(速報値)

血液検査地域	PFOA平均(ng/ml)
摂津市民(80人)	10.8
大阪府他地域(38人)	3.9
全国(406人) 2017年環境省資料	2.2



PFOA汚染問題を問う

国際機関が「発がん性物質」と認定

WHO傘下のIARC(国際がん研究機関)は昨年11月、PFOAを「発がん性の可能性がある」から「発がん性がある」グループに格上げしました。同ランクにはアスベストやカドミウムなどがあります。

政府は健康影響調査・疫学調査を！

それでも、日本政府は知見が集まっていないと血中濃度等の基準を作ろうとしません。汚染地域での健康影響調査・疫学調査が必要です。日本共産党は12月議会で、市長に対し、摂津市で血液検査を行うことを国に要請するよう求めました。市長は「年が明けたら行く」と答弁しました。

用語解説

【PFOA/ピーフォア】

有機フッ素化合物の一種。残存性・蓄積性・毒性が高く、世界で製造・使用が原則禁止になった物質。ダイキン工業淀川製作所で長年製造・使用された。2012年に終了したが、周辺での高濃度汚染が現在も検出されている。

【PFAS/ピーファス】

有機フッ素化合物の総称。



鳥飼地域の学校統合問題を問う

摂津市教育委員会は、2026年(令和8年)4月に鳥飼東小学校を廃止し鳥飼小学校に統合することなどを盛り込んだ「鳥飼地域における学校の適正規模・適正配置計画案」に対するパブリックコメント(市民等意見の募集)を実施しました。

パブリックコメント16件 鳥飼東小学校廃止に反対意見や要望に丁寧に対応を

約1ヶ月間のパブリックコメントで寄せられた意見は16件でした。パブリックコメントは、市の基本的計画の立案過程において、その案を公表し市民意見を考慮して意思決定を行うためのものです。鳥飼地域の教育・コミュニティ・防災の拠点として大事な学校の存廃を問う計画案について市民への説明責任、市民参加の保障という点で取り組みが不十分といえます。さらなる説明責任と寄せられた意見や要望への丁寧な対応を求めました。

寄せられた主な意見等

- ✓ 通学距離が遠くなる。通学バスの導入を
- ✓ 大型車の通行やフォークリフトなど路上作業、歩道未整備箇所など危険箇所が多い
- ✓ 統合することで教職員数が減少し、あらたな研修やカリキュラムの導入により教職員の負担がさらに増えてしまう
- ✓ 統合よりも教職員数の増員が必要
- ✓ 地域コミュニティの拠点、防災拠点がなくなれば、地域はますます衰退してしまう
- ✓ 廃校後にコミュニティ・防災拠点、子育て支援施設の整備を
- ✓ 今後の中学校の統合についての検討は慎重に



多様性を認め合い誰もが自分らしく生きることができる社会をめざして



LGBT当事者の生きづらさ解消の取り組みを問う

昨年6月に成立、施行された「LGBT理解増進法」では、「多数派が認める範囲」でしか性的少数者の人権・尊厳は認められないとのメッセージとなり、差別を助長しかねません。今後さらに『理解増進』と『差別禁止』の両輪で法整備を進めていく必要があります。

昨年10月、最高裁で「性同一性障害特例法」が規定する「生殖不能要件」を「違憲で無効」とする決定が裁判官全員一致で出されました。その違憲判決において、「地方公共団体で性的少数者のためのパートナーシップ制度が飛躍的に拡大したことが多様な家族のあり方に関する社会的状況の変化を示している」とする裁判官の意見の一部を紹介し、摂津市でもパートナーシップ制度の創設などLGBT当事者の生きづらさを解消する具体的な施策を求めました。

子どもの貧困対策を問う

「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の成立から10年が経過。子どもの貧困問題は見えにくく、その実態を把握することは大変難しいといわれています。日本共産党議員団は、2023年度大阪府と共同で実施した「実態調査」の結果分析にもとづいた具体的な施策の実施を求めました。

摂津市は調査結果を今後の「支援事業計画」に活用していくと答えました。

早期に実態を把握するとともに、子どもの安全な居場所づくり、成長と学びの保障、また全国の自治体で広がる学校給食無償化、高等教育無償化など積極的な取り組みを求めています。

意見書の結果

採択

日本共産党が提出し採択された意見書

パレスチナ自治区ガザへの攻撃中止と即時停戦を働きかける外交努力を求める意見書

日本共産党が提出したが議会に上程されなかった意見書案

- ▶ オスプレイ墜落事故に関する意見書(案)
- ▶ 性同一性障害特例法の速やかな改正を求める意見書(案)
- ▶ 非正規ワーカー待遇改善法の制定を求める意見書(案)

